（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス・児童発達支援）

事業所名	きっずはぐ

公表日　2026年　2月　17日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	利用できるスペースが増え、活動内容、子の人数により使い分けている 活動内容（体操、音楽、学習）に合わせて集中して取り組めるようにしている 別棟に学習室ができ、活動場所の選択肢が広がった	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用者の人数に応じてスタッフの人数を調整している 基準より多く配置している 常に職員の目が行き届く配置になっている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	手すりやスロープ等があり、バリアフリー化している バリアフリーになっている。成長に合わせて危険なもの（ハサミ、カッター、洗剤等）は手の届かないところにおいてある 全体的にバリアフリーになっている。時々によって、部屋の用途が変化するも、ホワイドボードや活動に使用するどううの設置により、子どもにも伝わっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	学習部屋が１箇所増え、活動範囲が広がった 日々清掃や消毒を行なっており、清潔さを保てるようにしている 空気清浄機、加湿器の設置こまめな消毒、学習机は成長に合わせて調整し、足置きなどで安定するようにしている 空調、空気清浄機、加湿器など積雪に設置されている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じて個別での活動を行なっている 発熱時などに個別対応、個別の支援時に静かな環境づくりなどしている 集中したい活動の時は個室になっている部屋や大きな部屋をふすまで仕切るなど工夫して使用できるようになっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	キャリアパスシートを活用により、目標をたて、それに対する振り返り、評価をしている 日々のミーティングや業務中など意見交換を常にしている 申し送りやノートで職員間の共有がされている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者向けの評価表を毎年実施し、その結果を共有、公表している 評価の集計により保護者の意向をミーティングで共有し、支援を心がけている アンケートの実施、集計、その後ミーティングで職員間で検討する機会を設けられている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	疑問点等はその都度伝えさせてもらっている 日々の会話を心がけ、きづき、改善点などを共有している ミーティングや日々の業務中でも、職員間で気になったことを話せている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	外部の専門的な内容の研修を受講できる機会がある 研修の機会は大いにある 常勤、非常勤に関わらず、必要な研修に参加する機会がある	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPにおいてきっずハグの活動内容が紹介されている HPで公表されている、保護者との面談をもとにプログラムが作成されている 心理、運動、音楽、学習など様々なプログラムが組み合わさっている。HP,SNSで公表されている	

	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	日々の様子や保護者からの聞き取りをもとに担当者が作成している 日々の様子を職員間で話す、保護者との面談を踏まえて作成されていると思う	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	子供の様子等について情報を共有することを心がけており、その中で支援目標や内容についての検討にも繋がっている 子供の様子を観察し、保護者のニーズも踏まえて成長に合わせたものに変更して行っている 職員間で利用児のことについて話しやすい雰囲気がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	1	計画に沿った支援につなげられるよう、こどもたちへの対応等確認しながら行なっている 計画書に目を通して日々の課題の内容等を検討している 支援の内容、方法などその都度確認をし、支援に入るようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	知能検査等の実施や日々の様子を観察することにより、お子さんの理解へつなげている 専門職が行った検査などから現状を把握、確認している 発達検査や心理検査w用いたり、日々の様子を記録したりして確認していると思う	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	５つの狙いを踏まえた支援内容を設定している 担当者がなるべく具体的な支援を設定するよう心がけている モク保設定に対し支援を行っているが、家庭、事業所、学校の支援内容が共通認識されているとは言えないのではないか。私自身の認識不足もあるので勉強していきたい 目標がクリアできるようにスモールステップを意識して設定している 事業所として行われていると感じるが個人的に確認できていない	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	活動内容の流れなど職員間で話し合いながら行なっている 日々の活動の様子などのお子さんの様子をスタッフ館で情報交換をしながら課題の内容を考え、行なっている 職員間で日々の様子を共有した上で立案を行うよう心がけている 専門職がそれぞれ立案したり、複数の職員でプログラムの立案をしている スタッフの様々な視点を取り入れながら考えている 職員同士、情報共有をしながら行なっている チームや担当ではないが職員間で行なっている。ただ職員間での内容徹底はやや低い	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	こどもたちの状況や特性を考えながら集中して身につけてもらえるように活動内容を少しずつ変化させるなど考えている 目的は同じでも課題の内容を変える等しながら飽きることなく興味を持って課題に取り組めるよう内容を考えている 日々の様子を共有しながら柔軟に対応している こどもたちの「やってみたい」につながる危惧、道具の配置、使い方を実施し、活動している 子供の状況や成長に応じて活動内容をスタッフ間で確認しながら変えて行っている 運動、学習、音楽、SSTなど状況に応じて組み合わせている 以前のものと比較したり、現在必要なものの相談をしている	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	必要に応じて個別の課題や集団での活動を取り入れて支援を行なっている 子供の課題に応じて、集団、個別をバランスよく組み合わせて支援している 体操活動では個別活動はほとんどないが、少人数で可能なこと、人数が増えることで意 子供の実態に応じて個別や集団の活動を取り入れている 個別、集団を子どもの状況を見ながら、活動に取り入れていると思う 日頃から職員が意識を持っていると感じる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	常時確認して、こども達の行動がスムーズに移行できるように考えながら行なっている その日の活動のグループ分けや流れ等をスタッフ間で相談や確認をしている その日に来る子ども、集団の活動を確認し、流れや支援内容を確認している 職員全員で必ず打ち合わせできることは少ないが、伝達してもらっている ミーティングやミーティングノート、ホワイトボードにてその日の利用人数、送迎等を確認している 朝の申し送りや連絡ノートでその日の流れを確認している 共有するよう努められていると思う	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9	0	日々気づいたことや変化等話し合って次につなげられるよう努めている その日の支援や活動の中で気になることやお子さんの様子で気になることはスタッフ間で共有するよう心がけている その日に聞き取ったことや気づいたことを言葉にするよう心がけている 気になったことがあれば時間に関係なく上司に報告、支援者同士で共有している その日の支援の到達度などを共有している 職員間で気づきなどを話せていると思う 就業終了のタイミングの違いにより開始時や伝言をするようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	ノートやパソコンで日々の記録をとっており、活動の内容の振り返り等ができるようになっている 自分自身は追い付いていないこともある 業務時間内で検証、改善は難しい 日々のノートに記録し、専門スタッフの見解により支援方法を考えている 個人のーとやパソコン入力の記録から様子を知ることができる 時間的に徹底は厳しいが努められていると思う	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的に保護者との面談を行いながら計画の見直しを行っている 担当が行った折、見直した内容は共有してもらっている 専門職が定期的に実施している 事業所として行っていると感じるが個人的に把握できたいない	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	活動類がいくつかあるので１つの活動だけにならないように組み合わせて行えている 地域の子と交流するイベントや自立に向けた支援、工作等の様々なことを行っている 各活動の中で心がけている。地域交流の活動が少ないかもしれない 利用時間、利用日数、利用曜日などでばらつきはあるが組み合わせた支援になるよう実施している 一つの活動だけにならないように個別や集団など専門スタッフに確認をとりながら行っている 季節の工作や活動、日々のプログララで利用児の状況に合わせた支援をしている 様々な経験ができるよう配慮され、年中行事も大切にされている	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自己選択ができる場面をいろんな活動に含め、考えながら行っている 子どもが自分で考えて行動するという場面を設けている 職員が大枠を準備し、内容の中で選択できるように心がけている 活動自体の選択、活動内でも役割の選択など自己決定の機会を用意している こちらから一方的指示だけでなく、子どもの選択やキュみ、意欲などを大切にしながら支援している 活動中の皮など利用児の思いや考えを聞けるようにしている 複数スタッフでの関わりとして共有することが努力事項と感じている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	各子どもに対して、全職員関わりがあるため、参加職員以外からも様子を聞いて出席している スタッフ間で確認しながら把握しているものが参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて様々な機会と連携をとっている 保護者の同意を得た上で、連携をしっかり行っている 大勢の隔離とは感じないがよく把握されていると思う	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	ご家族から、学校からの行事予定や下校時間などはプリントでもらっている。連絡についてはすぐに連絡が取れる状況になっている 学校の予定や下校時刻は保護者を通じて教えていただいている 保護者からの内容で学校に直接確認する事項があれば、適宜行っている 学校、家庭、事業所で確認作業を行い（報連相を行い）調整をしている 学校の下校時間や行事予定のプリントをいただき、保護者の方との情報共有をしている 学校などとの温度差は感じるが、必要に応じて共有、相談を行なっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	必要に応じて情報を共有している 保護者からの意向や同意があれば、共有し、理解に努めている 必要に応じて行えるよう体制が整えられている 学校などとの温度差は感じるが、必要に応じて共有、相談を行なっている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	本年は該当するお子さんがいなかったが、必要に応じて対応していく まだその状況を経験していな、もし移行する場合は必要な情報提供を行いたい 必要に応じて行えるよう体制がと問えられている 現在対象の利用児かいないので把握できていない 該当利用者がいないが、今後に向けたプランを考えている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	4	地域のセンター主催の研修の案内が紹介されている 必要な研修は参加する体制をとっている 把握できていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	イベントに参加していただいている 地域のお子さんも参加するイベントがあり、その中で交流している イベント時 チラシ案内、ポスターを貼らせていただき地域の方や小学校、保育施設にお知らせしている 季節のイベントに地域の子どもたちが参加しており、交流ができている 季節のイベントに地域の子どもも参加することができ、可能な状況にあるが、今年は地域のこの参加がなかった	

	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	一部のメンバーで行っていると聞いている 把握していません 参加できない 必要なものには積極的に参加しているがどういったものか個人的に把握できていない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日々のノートや送迎時の会話の中でお子さんの様子等を伝え合っている 日々のノートに記している。送迎時に口頭で伝えるようにしている 連絡ノートで家での様子を知らせていただいていたり、こちらも活動中の様子を知らせている 意思疎通は常に課題だが、共有には努められていると感じる	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	ペアレントトレーニングは行っていないが、適宜資料を配布したり、保護者からの相談等に対応している ペアレントトレーニングは行っていないが、イベント等を開き交流できるようにしている 連絡ノートを通して、資料を配布している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に丁寧に説明を行っている 契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談等により保護者の意向等を踏まえながら作成している 定期的に面談を行い、ニーズを把握するように努めている。成長とともに内容に変更があるときなどはその都度行なっている 担当者が面談や送迎児等に保護者と話をされている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9	0	作成した計画書をもとに保護者に丁寧に説明を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者から相談があった際には適宜対応している 随時対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者会やイベントを実施しており、その際に保護者同士やきょうだい同士で交流する機会がある 3間をする日やイベントなど保護者が自然と交流できる機会を設けている 保護者会の実施をしている。季節のイベントにきょうだいも参加できる	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情は現在ないが、あった場合には迅速に対応できるよう体制できている 苦情等があった際には迅速に対応するよう心がけている 迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的な通信は発行していないが、Hpyaイベントの案内配布により行事予定や行事の様子を伝えている HP,SNSで発信している。また日々のノートにも記している HPでイベントのお知らせを掲載している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付きの棚やシュレッダーも活用する等して個人情報の取り扱いに気をつけている 厳重に管理している、名前の確認を繰り返し行い、取り扱っている 鍵付きの棚、シュレッダーの設置がされている。守秘義務の遵守に努めている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	言動には気をつけながら、難しい場面があれば上司に相談している お子さんに対してはその子がわかるような伝え方を心がけている。保護者さんとのやりとりの際には必要に応じて伝え方等を上司に確認している 子どもにはわかりやすい伝え方を心がけている。保護者の方には連絡漏れがないよう、表現の仕方を確認しながら行なっている 伝わりやすい言葉、方法を取るように心がけている	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	地域のお子さんも参加してもらえるイベントを実施している チラシ、ポスター、HPなどでイベント告知している 季節のイベントの際、地域の学校にも案内を配布している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	様々なマニュアルを作成し、確認できるようになっている。定期的に防災センターでの訓練に参加している マニュアルが常に見られるところにおいてあり、いつでも確認することができる。防災センターで定期的に訓練をしている マニュアルが作成され、確認できるところに置かれている。個人的に訓練に参加できていない	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	定期的に防災センターでの訓練や実施している 避難経路を掲示している。非常災害時の対応を周知している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	利用開始前の面談の中でしっかり確認している 契約時に保護者に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	利用開始前の面談においてアレルギーの確認をし、保護者を通じて対応等を確認している 放デイにはいないが、対応はできるようにしている。その際には保護者に確認し、飲食可能なものを持参してもらっている 利用児のアレルギーの有無は職員に周知され、見守り体制など整えられている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	支援を行う際には常に安全を心がけている。 緊急連絡先ファイルをすぐに確認できる場所に置きすぐに連絡できるようにしている 安全に活動できるよう環境を整えることを意識している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	1	緊急時でもすぐにご家族へ連絡が取れるように連絡先一覧を作成している 施設での安全に関しての指示、指摘はされるが、保護者への伝達に関しては把握していない	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットを作成しており、怪我等があった際にはそのことを共有し、再発防止を心がけている すぐに共有し、再発防止を検討 未然に防げるように心がけている 記録ファイルが確認しやすいところに設置されている ヒヤリハットジレなど含め、オープンな伝達がされている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	職員会いで共有しながら、日々の業務の中でも話を出しながら再確認、再認識に努めている 外部の研修への参加やその内容を内部で共有する等している 研修へ参加、内容を共有している 計画書の更新時いに同意を得ている 定期的に虐待についての確認と留意点について勉強している 虐待防止法の理解と対応（虐待研修）に参加し他のスタッフにも周知するようにしている ミーティングなどで定期的に弱体防止について考える機会がある 職員間で声を掛け合っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	計画書に記載し、保護者にも説明し了承を得ている 保護者に説明し了解を得ており、拘束が必要な際には宝庫奥することを認識済みである 契約時に保護者に説明をしている	